



福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話：0790-22-1000

松岡家兄弟の両親 操とたけ夫妻の墓



松岡操夫妻の墓

松岡家兄弟の両親は、ともに明治29年(1896)にこの世を去っています。母のたけが7月8日に57歳で亡くなると、それを追うように父の操が9月5日に65歳で旅立ちました。

ある千葉県南相馬郡布佐町(現我孫子市布佐)の勝蔵院にあります。「松岡操夫妻之墓」と刻まれた墓石の左右と背面には、両親の人生についての記事が刻まれています。そして、この両親から、俊次、通泰、芳江、友治、國男、静雄、輝夫の8人の男子が生まれました。この墓に建てられているのは、長男である松岡操夫妻の墓です。この墓地は、41年間を過ごした地

開催予告

秋季展
松岡五兄弟の原点
〜福崎からたどる軌跡〜

記念館では、秋季展「松岡五兄弟の原点」を10月18日(土)から11月24日(月・振休)にかけて開催します。

本展では、松岡五兄弟の松岡鼎・井上通泰・柳田國男・松岡静雄・松岡映丘が福崎で過ごした経験を『故郷七十年』から紹介します。

映丘については画稿とともに本絵の展示も行います。

ぜひ、みなさん、お越しください。お待ちしております。



ちょっと



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間
9時～16時30分
(入館は16時まで)
☆休館日
月曜、祝日の翌日
12月28日～1月4日
☆入館料
無料

國男の雑学

下の写真は、自宅の庭で鳥の声を聞く國男の様子を写したものです。

國男は、鳥が好きで「野鳥雑記」という著作も生み出しています。



故郷七十年を 読む



名作著書紹介

『故郷七十年』には、両親が急逝したことが書かれています。

母のたけは、上京し又従兄弟の中川恭次郎宅で卒中を起こし倒れます。

そこで高瀬舟を一艘借り戸板に乗せて、たけを舟に移しました。そして、2日ばかりで利根川をまわって、鼎が住む千葉県南相馬郡布佐町(現我孫子市布佐)にたけを連れて帰りました。けれども、たけは半月か20日ばかりで亡くなってしまうのです。

この突然のたけの死によつて、父の操はすっかり弱り、外出もしないでじっとしているだけになりました。

そして、たけの死から2か月もたらずに操も亡くなりました。



利根川

第35回山桃忌を8月2日(土)と3日(日)にエルデホールで行いました。そして、3日には文化センターで、第1回柳田國男検定 初級編を実施しました。おかげさまで、山桃忌とともに検定にも多くのおみなさんに参加いただきました。

検定の可否結果は、当館から郵送にて通知しました。また、当館のホームページでも公開しています。

来年は中級編も予定していますので、楽しみにしてください。



柳田國男検定の受験のようす



館日記